

社長パトロール

的確な指示徹底要請

都内土木・建築2現場  
で大豊建設の大隅社長

大豊建設の大隅健一社長は13日、幹部らとともに、都内の土木と建築の現場計2件で現場安全パトロールを実施した。

土木の現場は護岸耐震補強工事で、大隅社長は「具体的に的確な指示を出し、職員や作業員、オペレーターの教育に生かしてほしい」と講評した。建築の現場は共同住宅建設工事で、「大型現場なので人の出入りも多くなる。安全対策を含めた現場の方針を職

現場を巡回する大隅社長  
(左から2人目)



喚起した。

員、作業員に明示して徹底を図り、統制してほしい」とした。

両現場では、「新型コロナウイルス対策に加え、熱中症対策も必要になる」と注意を

社長安全パトロール

作業員全員の体調管理に注意を

大豊建設

大豊建設は13日、東京土木支店と東京建築支店の管轄現場で社長安全パトロールを実施した。写真。大隅健一社長、菅浩



安全環境部長らが「中川護岸耐震補強工事(その45)」「(東京都葛飾区)」と都内の共同住宅建設現場を視察した。

中川護岸耐震補強工事の現場を確認したあと大隅社長は「現場が良い仕事をすることで信頼を得ることができる。日頃から目配り・気配り心配りを心掛け現場を管理してほしい」、共同住宅建設現場では「大型現場なので人の出入りも多くなる。安全対策を含めた現場の方針を職員、作業員に明示し徹底を図り統制してほしい」と訴えた。また両現場に対して「コロナ対策に加え、夏場は熱中症対策も必要にな

る。職員、作業員全員の体調管理にも注意を払い、無事故・無災害で竣工させてほしい」と激励した。